

令和 7 年 事業報告 (R7 年 1 月～R7 年 12 月まで)

押し花合同会社 花ことば
代表社員 押川 亘

事業報告

当事業所は、9 年目を迎えた。

子供たちはマスクもはずれ、元気いっぱいに過ごす事ができた 1 年だった。コロナウイルスが落ち着きマスクは外れたものの、12 月にはインフルエンザ B の流行により体調不良で欠席する児童が増えたが、持続することなく、まん延する事なく過ごす事ができた。

また、職員の変動もあり、新しい職員を迎え、新体制で取り組んだ 1 年だった。保育と療育の違いに戸惑いながらも、情報共有や相談を徹底して行う事で連携を図る事ができた。新体制の中で、子供たちが楽しく来所し、職員と子供たちの関係性構築や課題解決に向けて取り組むことができた。

R8 年度の目標として、保育所等訪問を拡充させ、個別から小集団、集団と子供たちの力をどのように汎化させていくかを検討する。また集団の中での困り感を把握することで、療育に生かす事ができるよう働きかけていくことができるよう取り組む。

療育の中では、季節の行事に合わせてビジョントレーニングなど、目と身体を使う活動を取り入れ、繰り返して行う事で持続して成長を見る事ができるよう取り入れたたり、お友達の誕生日を祝うなどお友達を意識できる活動を心がけて取り組むことができた。

個別療育は、視覚的課題を言語化し、聴覚的刺激や語彙理解向上に努めること、発信したことを認め、伝達することやコミュニケーション力を高めるよう努めている。言葉数が少なく、思いを訴える事が不十分な児童や発音の不明瞭さがあり、伝わらない思いをしている児童、行動で表現している子どもや目で訴えている児童に対して、代弁や言葉の使い方を示す事でやり取りができる事を伝えるよう支援を行ってきた。

保育所等訪問支援は、言語聴覚士が訪問している。集団生活の中で子どもが困っている先生の指示が伝わらない、言語表出が苦手など困り感や苦手としているところに対して支援方法について検討や助言している。曾於市や都城市で通所が難しい児童への介入を基本として動いている。来年度は拡充できるよう働きかけていきたい。

◎多機能型事業所

| | | |
|----------|------------------------|------------|
| 児童発達支援事業 | | |
| 対象者 | 未就学児 | 1日4～6名受け入れ |
| 定員 | 放課後等デイサービスと合わせて 10名 | |
| 営業曜日、時間 | 月・火・水・木・金・土 | 9：00～17：00 |

| | | |
|------------|----------------|-------------|
| 放課後等デイサービス | | |
| 対象者 | 就学時（18歳未満） | 1日4～6名受け入れ |
| 定員 | 児童発達支援と合わせて10名 | |
| 営業曜日、時間 | 月・火・水・木・金・土 | 15：00～17：00 |

※夏季休暇などの学校休業日は上記に限らない場合有り

| | | |
|---------|---------------|------------|
| 保育所等訪問 | | |
| 対象者 | 未就学児、18歳以下の児童 | |
| 定員 | 制限なし | 約30名/月 |
| 営業曜日、時間 | 月・火・水・木・金 | 9：00～17：00 |